

「たからばこ」

～第2層生活支援コーディネーター向け第1号～

地域の支え合い情報紙「たからばこ」は、地域で頑張っている第2層生活支援コーディネーターの皆さんに向け、第1層協議体（関係者ネットワーク会議）の内容や各地区での活動の様子などを中心に紹介し、地域福祉活動の推進に役立てていただくために、年数回程度の発行を予定しております。

初回は、7月11日に開催された令和4年度第1回関係者ネットワーク会議の内容と参加者の発言からピックアップしたものをお伝えします。

会議の様子を紹介します



今回の第1回関係者ネットワーク会議は、「ともに生き、ともに助け合い、いつまでも安心して生活をおくることができるまちづくり」「持続可能な体制づくり」の実現を目指し、

『広く市民に地域福祉活動の内容や必要性を知っていただくための啓蒙・啓発』に焦点をおいて話し合いをしました。

Q.コミセン行事や地域活動、ボランティア等にどうして参加してもらえないんだろう？



全く関心がないのではなく、**余裕がない**のかもしれないね…
平日は仕事だから無理なのかも…



ボランティアって**難しい・大変**なこと、**専門的**なことなどと思っているのかもしれない…

ボランティアをする前に体験してみないと、**不安**だよな…



第1回関係者ネットワーク会議委員の皆さんです！



長岡市希望が丘コミュニティセンター	
長岡市深才コミュニティセンター	
長岡市社会福祉協議会 栃尾支所	
長岡市民生児童委員協議会	
長岡医療と福祉の里ボランティア連合会	
長岡市シルバー人材センター	
長岡市地域包括支援センター みやうち・やまこし	
長岡市社会福祉協議会	
長岡市市民協働課	
長岡市長寿はつらつ課	
長岡市社会福祉協議会	

参加者を増やすために出たアイデア！

広報の仕方の見直し

- ・チラシなどでの参加募集は、見過ごされてしまうのでは？
- ・新しい人に参加してもらう行事等を計画し、地域活動に興味を持ってもらうのは？
- ・ターゲットを絞った募集の際は、読み手に合わせた内容に変えないとは？
- ・具体的に「何に困っているのか」「いつ協力して欲しいのか」など伝わりやすく表現し、写真を入れるなども良いのでは？
- ・「広く伝えて掘り起こす」か「テーマに対してどう伝えるか」

一緒にして欲しい



味の伝承ができる方



絵手紙を書いてくれる人



テーマと方法は？

まずは、地域を知ろう。どんな人がいるのかな



例①

食事サービス体験

- ・作る過程の中で盛り付け体験
- ・配達体験
- ・おふくろの味を教えてください、というテーマでの参加 等



例②

普段の行事をアレンジ

- ・「地域運動会」を「防災運動会」に！
- ・「盆踊り」にラジオ体操を入れて、子どもや老人会が講師に！
高齢者は、まだまだ活躍できる！

例③

「防災」をテーマにした取り組み

- ・炊き出し用のカレーを作ろう！
「自分ができることを手伝ってくれませんか？」
- ・炊き出しだけでなく、消火活動や担架作り体験
- ・紙芝居で防災を考えよう
- ・スタンプラリーで体験を制覇しよう！



この他にも、たくさんのアイデアが出ました！



発行： 長岡市 長寿はつらつ課 令和4年9月

制作： 長岡市社会福祉協議会 地域福祉課 生活支援コーディネーター 松浦